

市町村職員等在宅医療・介護連携基礎 研修（奥州会場）	資料6
平成28年10月17日	
長寿社会課 地域包括ケア推進担当	

市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修

平成28年10月17日 奥州会場

在宅歯科医療について

中田町歯科医院
朴澤 弘康

nakatachou D/C

1

本日の内容

1、在宅歯科医療について

(1)在宅歯科医療の具体的内容

訪問歯科診療で可能な診療内容とそれによる改善とは

(2)在宅歯科医療の利用方法

FAX連携のご紹介

歯科医師との連携の仕方

医療保険と介護保険の使い分け

2、歯科と介護の連携について

摂食・嚥下のメカニズムと摂食・嚥下障害とは

高齢者に多い全身疾患と有病者に求められる口腔ケア

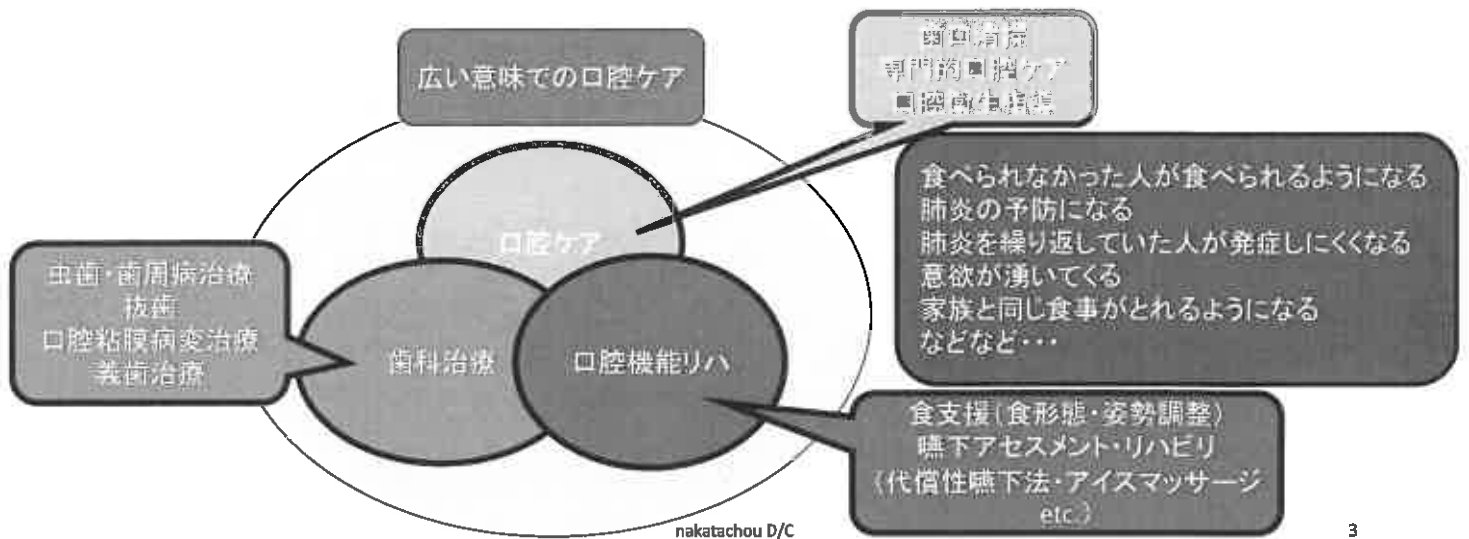
摂食・嚥下リハビリテーションについて

nakatachou D/C

2

1、在宅歯科医療について

(1)在宅歯科医療の具体的内容



事例 1

義歯修理により栄養摂取可能となった例



事例2 3年間、訪問口腔ケア実施例

77歳女性

主訴: 歯を痛がっている

現病歴:

H19脳梗塞発症

H21,9月腰痛にて歩行不能となり
寝たきりとなる、脳血管性認知症あり



3年間の訪問口腔ケアの後、最期を迎える
最期の口腔ケアは、苦しそうな息遣いを
やわらげ、家族が涙を流して喜んだ



nakatachou D/C

5

本日の内容

1、在宅歯科医療について

(1) 在宅歯科医療の具体的内容

訪問歯科診療で可能な診療内容とそれによる改善とは

(2) 在宅歯科医療の利用方法

FAX連携のご紹介

歯科医師との連携の仕方

医療保険と介護保険の使い分け

2、歯科と介護の連携について

摂食・嚥下のメカニズムと摂食・嚥下障害とは

高齢者に多い全身疾患と有病者に求められる口腔ケア

摂食・嚥下リハビリテーションについて

nakatachou D/C

6

介護支援専門員とFAX連携

— 研修会・懇親会 —

— 作業部会 —



行政・ケアマネ合同研修



ケアマネ等との懇親会

目的：連携強化、情報交換

構成：ケアマネ側 6名
歯科医師会側 3名

日程：年3回

内容：連携事例の検討

情報交換

研修会企画

連携ツールの改良
地域への周知活動

・企画

nakatachou D/C



シンポジウム開催

歯科往診依頼FAX連携票

歯科往診依頼書

(宛先：奥州市歯科医師会 FAX0197-24-0861)

平成 年 月 日

ご依頼元ケアマネジャー 所属所名 _____

氏名 _____

患者様名 _____ 男 女 _____ 歳

患者様住所 _____

患者様電話番号 _____

ご依頼内容

<input type="checkbox"/> 歯が痛い	<input type="checkbox"/> のみ込みが悪い
<input type="checkbox"/> 歯が動く	<input type="checkbox"/> むせる
<input type="checkbox"/> 噛めない	<input type="checkbox"/> 舌が腫れる
<input type="checkbox"/> 口がゆがんでいる	<input type="checkbox"/> 傷がある
<input type="checkbox"/> 入れ物が合わない	<input type="checkbox"/> 口が臭う

お問い合わせ ・希望歯科医師がございましたらご記入願います。

添付書 ・ご依頼に対する患者様の承諾（本人または家族の署名、あるいは押印願います。） _____

nakatachou D/C

要介護認定時の口が
以下のようにならないですか？

目の中

1. グラグラ動く歯がある、高い歯がある
2. 口の奥いびひどい
3. 歯ぐき、歯の間に膿がある（図1）
4. まゆ毛がべったり付いている、唇がべっぺりで歯がない（図2）
5. 舌が腫れていて、奥が詰まったく無い（図3）

舌が臭う

(図1) (図2) (図3)

入れ歯

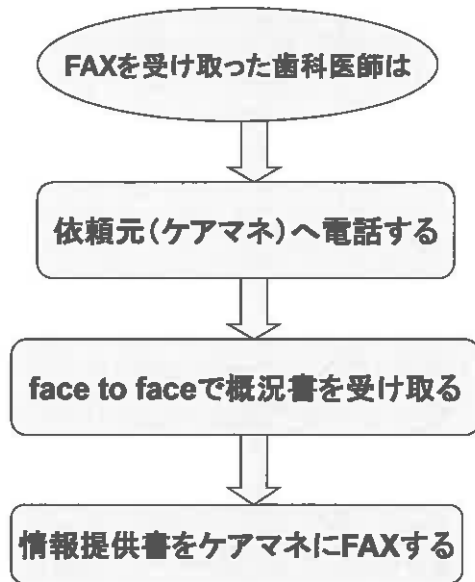
1. バスが折れた、割れた
2. ゆるくてすぐ落ちる、合っていない、痛い、痛い
3. 歯が無いのに入れ歯を嵌っている

のみ込み

1. 食べる時、飲み物にムセがひどい、食後、ガラガラ声になる
2. なかなかのう込みがない、食事に時間がかかる

どこかに、当てはまる場合は、歯科医師、ご依頼、歯科往診が必要と
考えられます。

FAX依頼後の流れと情報提供書



情報提供書 (歯科-ケアマネ) 様式2

平成 年 月 日

介護支援事業所 歯科医院名

介護士番号 FAX

ご依頼頂きました患者さん 様を訪問致し

ましたので報告申し上げます。

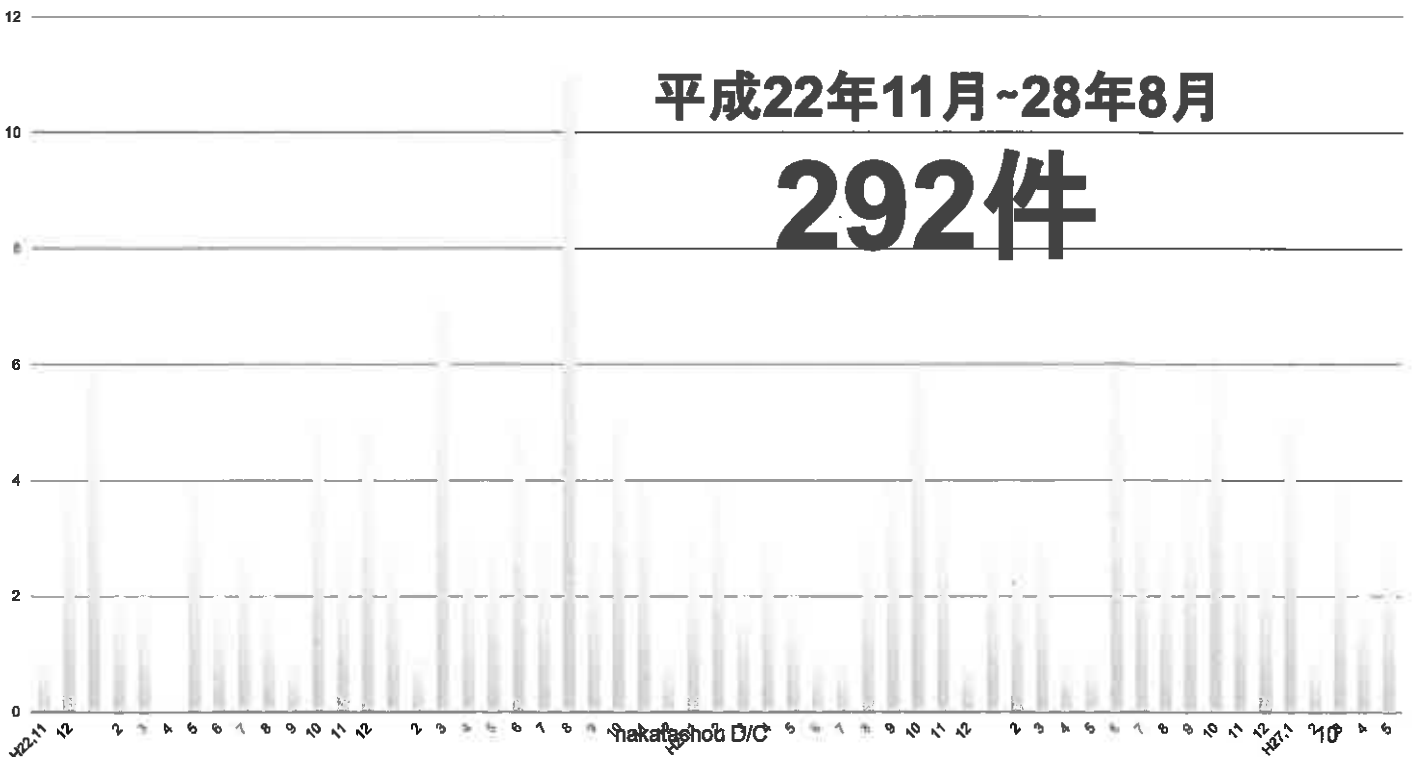
訪問日	年	月	日
<口腔内所見>			
口腔の状況	むし歯	有	無
	歯周疾患	有	無
及び	口腔乾燥	有	無
	その他	}	
伝達事項			
<歯磨きの状況>			
	歯磨	有	無
	歯磨使用	使用している	使用していない
	歯磨の適合状態	良	不良
	歯磨状態	良	不良 (改善を要する)
	その他	}	
次回の訪問予定日	年	月	日

nakatachou D/C

9

平成22年11月~28年8月

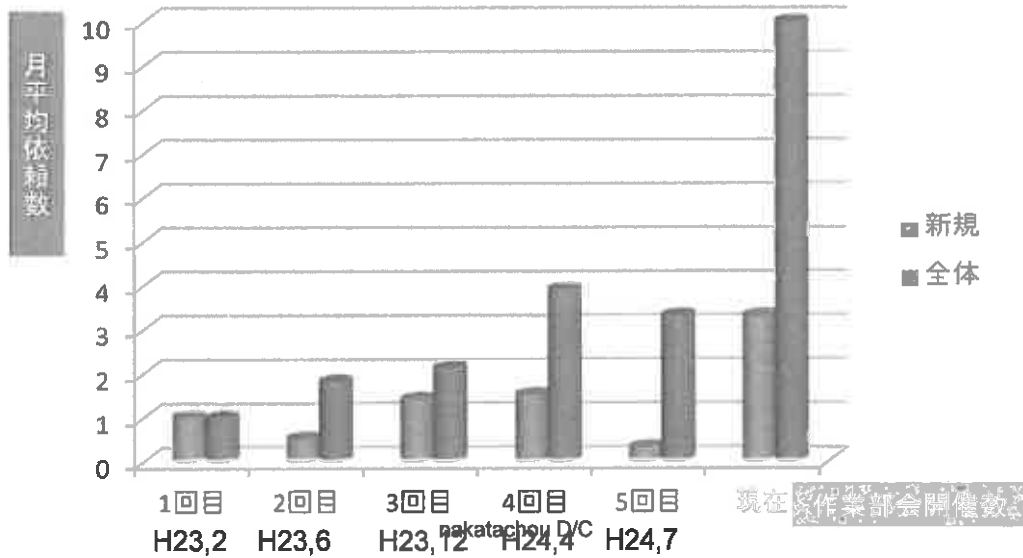
292件



nakatachou D/C

H28-10

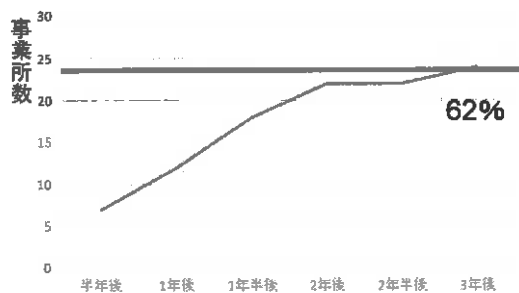
作業部会開催とFAX依頼数との関係



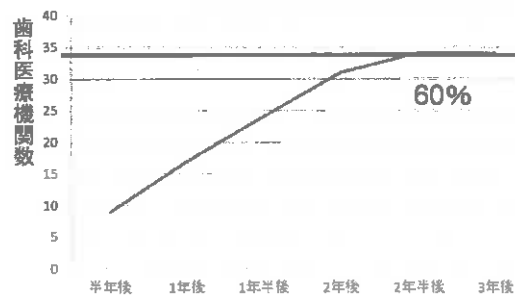
11

FAX依頼書の 居宅支援事業所・歯科医療機関への広がり

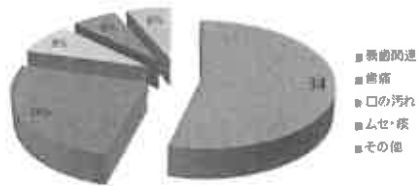
参加事業所数の推移



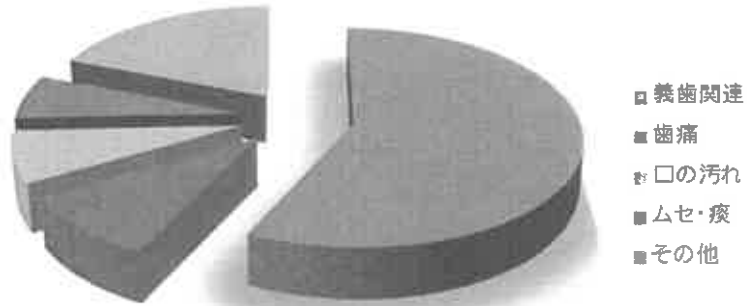
歯科医療機関数の推移



依頼内容の変化



開始2年後



nakatachou D/C 3年後

13

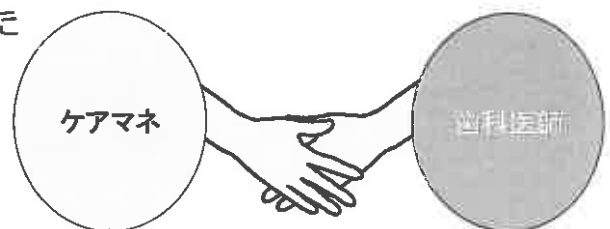
ケアマネジャーからの喜びの声 —ケアマネへのアンケートから—

食事がとれるようになり

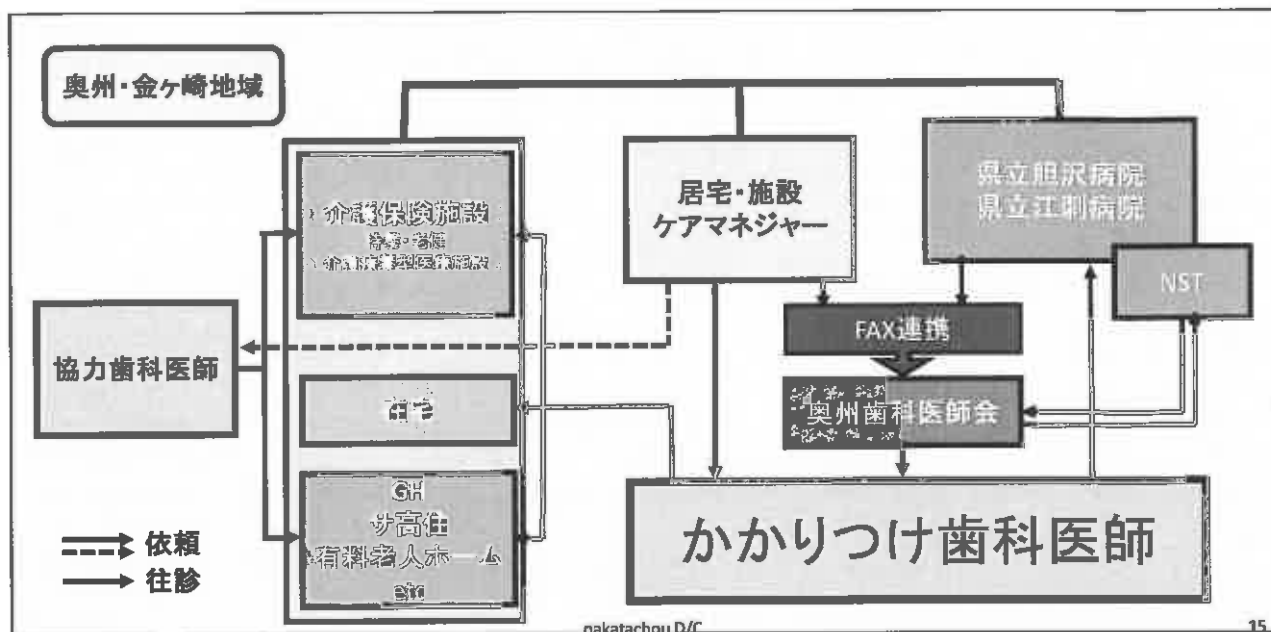
- 話をするようになった
- ムセなくなり、食事介助が減った
- 食形態がアップし、調理の手間が減った
- 苦痛なく食べられることが精神的支えとなった
- 家族団らんが可能となった

歯科介入(口腔ケア、口腔リハなど)により

- ADLがアップし、介護サービスを拡大できた
- 誤嚥性肺炎発症が減少した
- 失見当や感情失禁がなくなった
- 座位が安定した



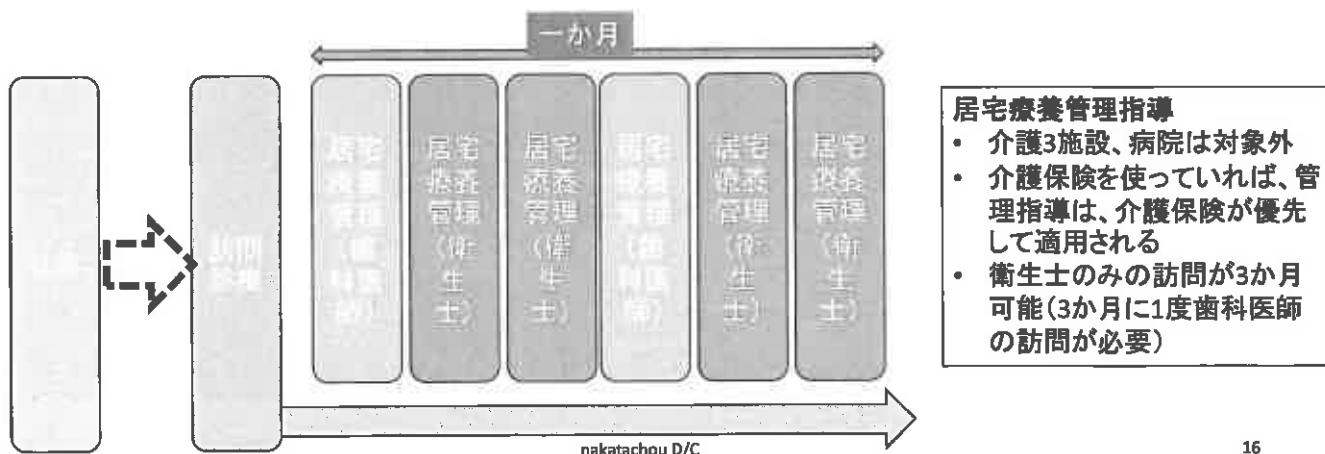
歯科医師との連携方法は



医療保険と介護保険の使い分け

医療保険: 訪問診療全般に適用: 介護施設・病院・居宅すべて

介護保険: 居宅療養管理指導(歯科医師・歯科衛生士): 居宅のみ



本日の内容

1、在宅歯科医療について

(1)在宅歯科医療の具体的内容

訪問歯科診療で可能な診療内容とそれによる改善とは

(2)在宅歯科医療の利用方法

FAX連携のご紹介

歯科医師との連携の仕方

医療保険と介護保険の使い分け

2、歯科と介護の連携について

摂食・嚥下のメカニズムと摂食・嚥下障害とは

高齢者に多い全身疾患と有病者に求められる口腔ケア

摂食・嚥下リハビリテーションについて

nakatachou D/C

17

口から食べて、飲み込む(摂食・嚥下)

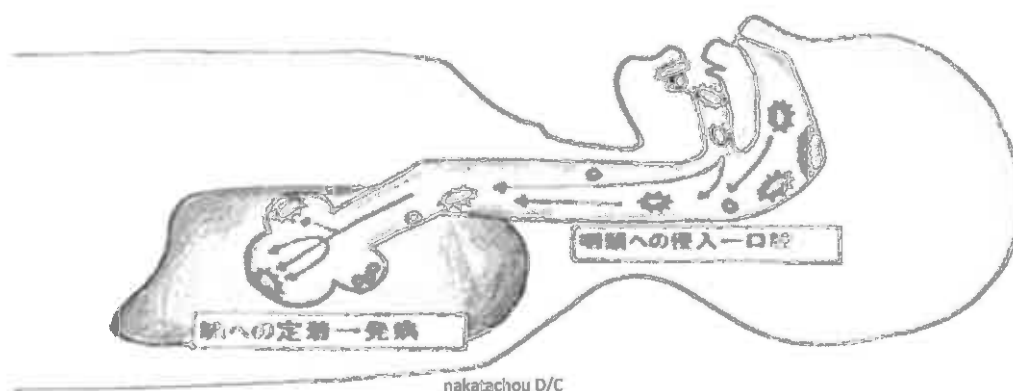


18

嚥下造影



高齢者の肺炎は口腔内の菌で起こる
65歳以上の方の約半数が夜眠っている間に
唾液を肺に飲み込んでいる
肺炎での死亡の92%が65歳以上である

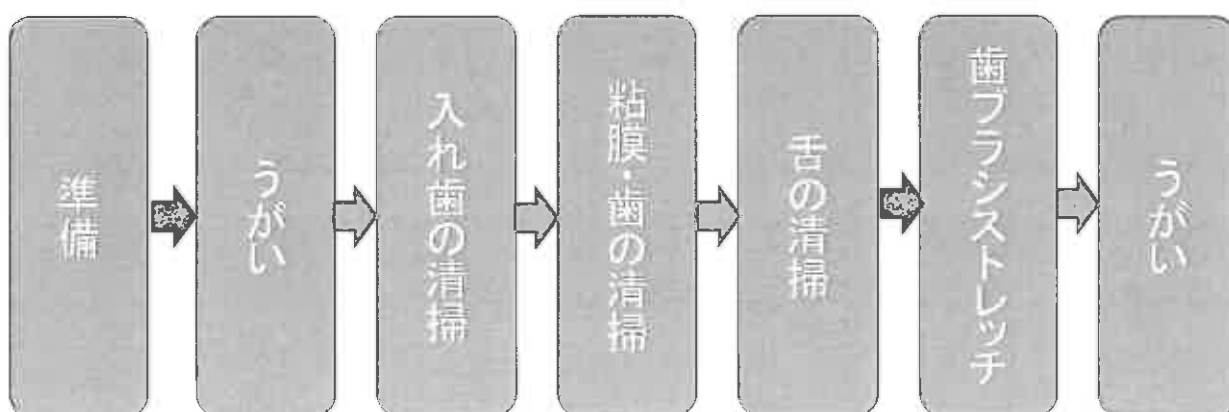


口腔内細菌です



nakatachou D/C

口腔清掃の効果的な手順



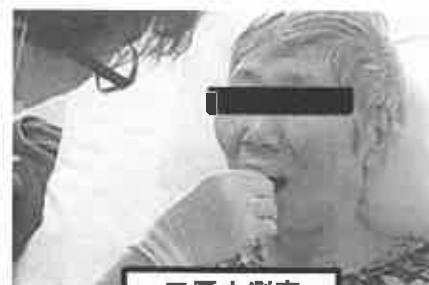
口腔ケア・口腔リハ・嚥下リハビリ



アイスマッサージ



ブローイング



口唇力測定



ガム咀嚼トレーニング



舌運動ストレッチ

他にも、その方の症状に合わせて、各種のトレーニング・エクササイズ・顔や肩のマッサージ・ストレッチなどを実施します

23

ご清聴ありがとうございました